

第 6 学年「国語」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

成果 ○自分の思いや考え明確にして、根拠をもとに意見文を書くことができた。
○互いの立場や意図を明確にしながらか、話し合う力がついた。

課題 ▼ 文章の要旨を読み取り、文字数に合わせて要約することが難しい。
▼ 語彙や漢字の定着に個人差がある。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 主張を的確に読み取り、目的に応じて要約する力
- ◇ 和語・漢語・外来語、熟語など言葉の意味について理解して活用する力
- ◇ 話し手の意図をつかみながらか聞く力

具体的な改善策

主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 学習計画を立てて見通しを持って取り組ませ、主体的な読みの力や学びを調整する力を育む。

言語活動の工夫

- 「様々な視点から検討すること」「自分の考えを広げること」「互いの意見の共通点や相違点、利点や問題点等を区別すること」ができるように、話し合いや個人内思考等の活動を意図的に設定する。
- 線を引きながらか読むこと、メモを取りながらか聞くことなどの活動を通して、読んだり聞いたりしたことをより深く理解できるようにする。

ICT活用の工夫

- 読み取った内容や、自分の考えを共有する際に ICT を活用し様々な考え方を交流できるようにしたり、意見をつけ足したりする。

課題解決力育成の工夫

- 話し合いを通して様々な視点から検討し、自分の考えを広げたり、互いの意見の共通点や相違点、利点や問題点等をまとめたり

達成目標

- 筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。